

平成26年度 福祉学習推進ファシリテーター養成講座 開催要項

1 目的

福祉教育・福祉学習は、福祉に関わる問題の解決に向けて、住民がどのように行動していくかを考え、そして深めていく学びです。地域における福祉課題を題材に、住民と一緒に考えていく福祉座談会や、学校での総合的な学習の時間、公民館等における社会教育プログラムにおいて、ただ一方的に話すのではなく、どのような地域、社会にしていきたいかについて、参加者の思いや力を引き出し、主体的に関わってもらうため、ともに学びあい、育ちあう場を創造する力が必要となります。

そこで、「ファシリテーション」という技術を使って、参加者一人ひとりの思いや経験、知識、意欲を引き出しながら、合意形成や問題解決を図っていく方法を学ぶことを目的として開催します。

2 ファシリテーターとは

場をつくり、人と人をつなぎ、みんなの力を引き出し、思いをまとめ、合意形成や問題解決を図っていく人

3 主催

鳥取県社会福祉協議会

4 日時

平成27年1月20日（火） 午前10時から午後3時10分

5 会場

新日本海新聞社中部本社 ホール

（住所：倉吉市上井町1丁目156番地 電話：0858-26-8340）

6 受講対象者（定員70人）

福祉学習の活動推進者

- ・市町村社協役職員（地域福祉担当・ボランティアコーディネーター等）
- ・社会教育機関の職員（教育委員会、公民館職員等）
- ・学校の福祉教育担当職員
- ・福祉学習サポーター
- ・民生委員児童委員等の福祉学習活動支援者

7 受講プログラム

時間割	プログラム	内容
9:30~10:00	受付	
10:00~10:10	開会・オリエンテーション	
10:10~11:10	I「福祉教育とファシリテーション」	ファシリテーターの役割とその準備についての説明等。
11:10~12:10	IIアイスブレイクの効果と活用	アイスブレイクとは、初対面の人同士が出会う時、その緊張をときほぐすための手法です。
12:10~13:10	休憩	
13:10~14:50	III対話の場づくりを目指して	対話の可視化とワークショップの進め方を演習します。
14:50~15:10	IVまとめ	

※研修内容は、受講者層等を考慮し、一部変更する場合があります。

■講師 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 野尻紀恵氏

プロフィール

日本福祉大学 社会福祉学部 准教授／茨木市スクールソーシャルワーカー
神戸大学卒業後、神戸常盤女子高等学校教諭のときに阪神淡路大震災を経験する。震災後、福祉教育を軸として神戸市長田区のまちづくりに参画する。
日本福祉大学へは2011年に赴任。今年度より災害ボランティアセンター長を務める。愛知県内では半田市でスクールソーシャルワーカーとして実践する一方、南知多町、春日井市などのSSW事業スーパーバイザーをしている。

8 受講料

無 料

9 受講申込み

希望者は、別添「受講申込書」の必要事項をご記入のうえ、平成27年1月13日(火)までに、鳥取県社会福祉協議会へお申込みください。

受講申込書、開催要項は鳥取県社会福祉協議会のホームページからダウンロードができます。 URL <http://www.tottori-wel.or.jp/>

受講申込書に記載された個人情報は、本講座の受講者受付や連絡、受講者名簿の作成以外には使用しません。

10 お問い合わせ先

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部 (担当：田中、桑村)
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内
電話 0857-59-6332 ファクシミリ 0857-59-6340